

没後30周年

伝説のロッカーが生前ハマった味、1日だけ限定復活!

# 尾崎豊が愛した 幻のカレーライス

26歳で亡くなってから早30年。各所でイベント開催、記念CDやグッズなどが発売される一方で、尾崎の愛した伝説の料理が1日だけ復活を遂げた。それは生前交流のあったキラ・カーン氏の作る特製カレーライスだった。

取材・文＝銀海生



「店に来るたびに食べてくれたよ」  
(キラ・カーン氏)



やっぱり美味しいね!

癌の手術からまだ間もないにも関わらず今回のイベントに参加したカーンさん

生前店に訪れてきてくれた時に撮った1枚。スーツやジャケットを着ている姿が多く、好青年のイメージだったという



葬儀参列後にもらった御会葬御礼状。まだ大事に取ってある



熱唱した「I LOVE YOU」。参加客全員感動!

母親思いの好青年だった  
ロックのカリスマは

カーンさんといえば、並外れた巨体の持ち主であり、全盛期はヒールレスラーとして国内外で活躍。モングル人という売りだったが、実際は純粋な日本人。新潟出身で戦後の母子家庭で育った。尾崎が愛したカーンさんのカレーの味は、二人の中に存在する母への敬愛と思いの味が染み出した優しいものだったのだろう。



四谷のインド料理屋で行われたファンイベント。往年のファンはもちろん高校生も訪れていた

おふくろの味

尾崎豊の命日の前日4月24日、都内にて『尾崎豊30周年忌ファンイベントOZAKI THE PARTY』(OfficeRedChocolate主催)が行われた。ゲストに筆跡仕事人・芳田マサヒロ、UFO研究者・竹本良、俳優・水沢レインなどの多彩な有名人が参加し尾崎への思いを語るなか、この日の目玉はなんと元プロレスラーのキラ・カーンさんが作る「尾崎カレー」を参加者全員に振る舞うことだった。

生前、尾崎豊はカーンさんが新宿中井で経営していた居酒屋「スナックかんちゃん」の常連客で、店の賄いで出していたカーンさんの特製カレーを好んで良く食べていた。そのため、この30周年という節目に尾崎カレーが1日限定で復活を遂げたのだ。

尾崎と生前交流のあったカーンさんは当時をこう振り返る。

「中井でスナックを経営していた頃、芸能人の外車を扱ってたディーラーさんが店の常連客で、尾崎豊さんを連れてきてくれたんだよ。スナックだから食事メニューが無い中、従業員のまかない用に作っていたカレーを出したら『おいしい!』と喜んでくれ、それから月に3回くらい来るようになってね。一人で来る時もあったし、マネージャーさんや母親、男友達なんかと来てくれたよ。鯛のカプト煮を出したら、体調の悪い母親を気遣って骨を取ってあげてね、母親思いなんだと感心したよ」

飲むのはウイスキー、焼酎が中心で、泥酔する事はなかったという。また、店で尾崎の曲を唄う客がいたら、マイクを持って一緒に歌い、写真も頼まれれば喜んで撮ってあげた気のいい青年だったと語る。

「来るたびカレーを食べてくれた。本人は家庭的な味が好きだったみたいだから、それに合わせて色んな材料を加えたよ。野菜ジュースを入れているのは特徴があったかもしれない。亡くなる8日前も来て一緒に飲んだが、特に変わった様子もなくてね。尾崎を店に連れてきてくれた車屋さんから『尾崎豊が死んだ』という連絡を受けたとき、『冗談じゃない』と怒ったよ」

しかしそれは現実だった。もちろんカーンさんも葬儀に駆けつけている。

この日のイベントの最後、演歌歌手でもあるカーンさんが急遽『I LOVE YOU』を熱唱してくれた。尾崎豊が降臨したかのように歌った。「尾崎さんが、まだここに来ると言ってる気がした」と、遠い空を見上げ目を潤ませた。